



元気に遊ぶ園児(西条保育所)

保育所・幼稚園のグラウンドの芝生化は？

(リベラル西条)

問

芝生は植えたり、維持するの膨大なコストがかかるものと認識していたが、先のNHKの番組で天然芝を3、4か月の短期間で、だれにでも簡単に施工・植生することができると「※1 鳥取方式(低コスト保育園芝生化事業)」が紹介されていた。

実際に芝生化するとすると、低コストとは言え、芝の購入はもとより、管理上必要とする芝

刈り機などの購入に要する経費や手間が発生してくる。

しかしながら、転倒による打撲やすり傷の防止といった安全性の向上による屋外活動の促進や、夏場の温度上昇の抑制による快適性の向上、さらには砂じんの飛散・土の流出防止、美観などのいやし効果によってもたらせる情操安定といったメリットが挙げられる。

子どもたちが安全で安心して遊び、運動ができる、保育所・幼稚園のグラウンド(園庭)の芝生化について問う。

答

市内17か所の公立の保育所及び幼稚園のグラウンド(園庭)の芝生化については、種々のメリットがある一方で、整備にかかる初期投資や維持管理に要する経費の問題や、芝の管理に伴う人手の確保なども課題として挙げられる。

既に実施している自治体の例からも、特に人手の確保については、保護者や地域のかたがたの協力を得ながら維持管理に努めているという現状であり、その協力が得られることが求められる。

また、衛生面においては、一

定の消毒は必要ではないかと考えており、消毒薬の人体への影響も懸念するところである。

これらのことを比較検討する中で、保育所や幼稚園の現場の声を聞いてみると、幼児期における児童の成長にとって、土のグラウンドのほうがより好ましい影響を与えるとの声が多かった。

したがって、貴重なご提言ではあるが、保育所や幼稚園のグラウンドの芝生化については、現在のところ実施する予定はない。

※1 まめ知識

ポット苗移植法のことを通称「鳥取方式」と呼び、現在、鳥取市では「はだして遊べる公園づくり」を推進するため同方式の芝生化に取り組んでいる。

どう取り組むのか？

定額給付金事業

(無党派)

問

世界的な景気悪化の中、新たな経済対策・生活対策の柱の一つである定額給付金は、やりくりが厳しくなっている家計を下文えするものである。

また、内閣府は、定額給付金

は実質GDPを0.1パーセント押し上げる経済効果があると試算を明らかにしている。

この定額給付金に関する事務作業を委ねられることとなる、市の今後の取り組みについて問う。

答

定額給付金については、さまざまな意見が出され、その評価も分かれているところである。しかし、昨今の景気後退下での住民の不安に対処するための生活支援と、住民に広く給付することによる地域経済対策の両面を目的としている。

円滑かつ確実に給付されることにより、生活支援策としての家計の下支えや地域経済対策としての消費需要の喚起など、一定の効果が見込まれるものと認識している。

現在、総務省においては、定額給付金実施本部を設置し、市町村の実態や意見を踏まえつつ、詳細な制度設計に取りかかっているところであり、市として交付要綱を制定する段階には、まだ至っていないと考えている。

今後、この事業の実施に当たっては市町村が窓口となるが、膨大な事務作業が見込まれることから、早急に国において事務

処理マニュアルが示されるであろうと考えている。

実際の申請・給付事務に際しては、相応の体制や、本庁だけでなく各総合支所の機能もじゅうぶん活用した対応が必要であるろうと考えている。

なお、定額給付金事業を円滑かつ確実に実施するためには制度の周知が不可欠であり、今後、制度設計がなされ詳細が決定された段階で、具体的な取り組みを進めていきたい。

特に、今回の定額給付金に関しては、総務省職員を装った不審な電話がかかっているようであり、振り込め詐欺が心配されている。こうしたことから、総務省では警戒を強化しているが、当市でも市のホームページで振り込め詐欺等の犯罪に対する警戒を周知するとともに、広報さいじょう1月号でも注意を呼びかけることとしている。

